

くすりのしおり

外用剤

2020年08月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：リノロサル眼科耳鼻科用液 0.1%

主成分：ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム (Betamethasone sodium phosphate)

剤形：無色透明の点眼・点耳・点鼻剤、(キャップ) 赤紫色

シート記載：



この薬の作用と効果について

合成副腎皮質ホルモン剤（ステロイド）で、炎症による目、耳、鼻のかゆみ、赤み、はれなどの症状を改善します。

通常、眼科領域では眼瞼炎、結膜炎などの炎症性疾患、耳鼻科領域では外耳炎、中耳炎、アレルギー性鼻炎などの炎症性・アレルギー性疾患の治療に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。角膜上皮剥離、角膜潰瘍、ウイルス性結膜・角膜疾患、結核性眼疾患、真菌性眼疾患、化膿性眼疾患、耳または鼻に結核性またはウイルス疾患がある。糖尿病がある。コンタクトレンズを使用している。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
 - ・眼科：通常、1回1～2滴ずつ、1日3～4回点眼します。
 - ・耳鼻科：通常、1日1～数回、適量を点耳、点鼻、耳浴、ネブライザーまたはタンポンにて使用するか、または患部に注入します。
- いずれの場合も、治療を受ける疾患や年齢・症状により適宜増減されます。必ず指示された使用方法に従ってください。
- ・点眼：他の目薬と併用するときは、5分以上の間隔をあけて点眼してください。
 - ・点耳：薬をさす耳を上にし薬を耳にさします。通常は2～3分間そのままの姿勢でいてください。
 - ・点鼻：鼻が上を向くようにし薬を鼻にさします。通常は2～3分間そのままの姿勢でいてください。
 - ・容器の先端が直接目や耳や鼻に触れないようにしてください。
 - ・あふれた薬は、すぐにふき取ってください。
 - ・使い忘れた場合は、気がついた時にできるだけ早く使用してください。ただし、次に使用する時間が近い場合は使用しないで、次回より指示どおりに使用してください。2回分を一度に使用してはいけません。
 - ・誤って多く使用した場合は医師または薬剤師に相談してください。
 - ・医師の指示なしに、自分の判断で使用するのを止めないでください。

生活上の注意

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、刺激感などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・（連用したとき）眼痛、頭痛、見えにくい [緑内障]
- ・眼痛、涙が出る、見えにくい [角膜ヘルペス、角膜真菌症、緑膿菌感染症の誘発]
- ・（角膜ヘルペス、角膜潰瘍または外傷などに使用したとき）目のかすみ、涙がでる、まぶしい [穿孔]
- ・（長期に使用したとき）目のかすみ、まぶしい、視力の低下 [後嚢白内障]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、添付の投薬袋に入れて、光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・開封後1ヶ月が経過し、薬が残った場合は、保管しないで廃棄してください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。